

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和5年度
学校だより No. 6
令和5年6月20日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

体育祭開催～生徒主体で生徒が輝く「青春の1ページ」

6月4日(日)、前日は雨で順延となり、この日も天候やグラウンドコンディションが心配されましたが、朝早くからグラウンド整備、テント設営、机や椅子の設置、用具の準備、ライン引き等々…たくさんの生徒が一生懸命力を合わせて準備を整え、体育祭を無事、開催することができました。

今年度のスローガンは「**青春の1ページ～今日、僕らは熱さを知る～**」でした。開会式の校長挨拶では「『絆』を意識し、熱く全力を出し切って最高の『青春の1ページ』にしましょう」という旨の話をしたのですが、前日までの準備も含め、「自分たちの手で最高の体育祭にする!」という生徒たちの熱い思いを、いろいろな場面で感じる体育祭でした。

まず、練習や準備・進行の中心となった体育委員をはじめ、息つく暇もない用具の準備、確実に厳正な審判、臨場感たっぷりの放送、得点の集計と演出を凝らした発表、招集、ライン、救護…各係がそれぞれの仕事に使命感を持って主体的に取り組んでいた様子がとても印象に残りました。

順位にかかわらず力を出し切り晴れやかな表情でゴールを駆け抜けていた個人種目、各学年とも楽しながらもなかなか難しく、何度も練習してきた成果を発揮した団体種目、大迫力で見ているほうも大興奮の棒引き&綱引き、懸命にバトンを繋ぎ、抜きつ抜かれつたくさんのドラマがあった学級対抗リレー、そして会場全体が最高に熱く盛り上がった紅白リレー…競技者としての姿もみな輝いていました。

応援席にはどのクラスにも一生懸命「学級旗」を振っている生徒がいて、話を聞くと工夫した点や誰が頑張って作っていたかなど、みな誇らしげに説明してくれました。どの旗も素材や縫製、刺繍や塗装など、みんなで時間と手間をかけて作ったことがよくわかる、素晴らしい「作品」でした。フォトスポットや昼休みの盛り上げ企画を考え実行した生徒会本部、練習の成果を見事に発揮して迫力の応援とダンスパフォーマンスを披露し、全校生徒をうならせた応援団の活動も二中ならではの。紅白の応援団長、体育委員長の閉会式での気持ちのこもった言葉も皆の心に響きました。

他にも「二中の生徒はすごいな」と感じることもたくさんありました。どの生徒もトップを争っているときも、大きく差をつけられているときも変わらず最後まで全力を尽くして競技に取り組んでいました。順位が良ければもちろん大喜びしますが、結果にかかわらず頑張りきったこと自体に満足し、いい表情で笑い合っていました。競技後にルールに照らして順位の降格が発表されても、審判系の判定に不満や落胆の態度を見せることなく、素直に受け入れていました。どれも当たり前のことかもしれませんが、なかなかできないことだと思います。そして何より、自分が出ていない競技を応援するときの本気度、全校が一つになった盛り上がり、二中生の真っ直ぐな心と大きなエネルギーを感じました。

今年度は4年ぶりに、制限なく保護者の皆様に参観していただけたこともとても大きな喜びでした。生徒たちにとっても、お家の人に直接見ていただけたことは大きな励みになったと思います。自転車整備、パトロール、広報など様々な形でご協力いただいた保護者・地域の皆様、ご来賓としてお越しいただいた皆様、ご理解・ご協力、本当にありがとうございました。

自分たちで作り上げ、たくさんの「感動」と「達成感」、そして「仲間との絆」が得られた、とても良い体育祭になりました。これからの学校生活に繋げ、「生徒主体の体育祭」を、来年以降も大切にしてみたいと思います。



全競技の様子を、二中ブログ(HP)に掲載しています。ぜひチェックしてみてください!

